

Welcome to 五高 library

The door to the books

こんにちは、図書委員会です。

2学期が終わりました。

たくさんの行事一つ一つも私たちに刺激を与えてくれました。大人の階段をしっかりと上りたい!

冬休みも大切な時間。

読書は、心の余裕をすることで人生を豊かにしてくれます。

Merry Christmas 🎄



忘れ雪 著者:新堂 冬樹

「忘れ雪に願いをかければ、必ず叶う」という祖母の教えを信じて願います。仔犬を助けたい主人公と獣医の恋物語。神様は願い事を叶えてくれたのでしょうか?もしも本当に叶うなら「忘れ雪」…。

クリスマスのおもしろ事典

著者:クリスマスのおもしろ事典刊行委員会

皆さんは、クリスマスと言えば何を思い浮かべますか? ケーキ!プレゼント!幼い頃はワクワクしたものです。年頃になると疑問が生じます。キリストの誕生日?サンタは実在する? サンタは誰?…etc
クリスマスの歴史はご存じですか?この本で、皆さんの疑問が解消できるかもしれません。

クリスマス・キャロル 著者:ディケニス

この本の主人公、スクルージはクリスマス・イブで亡くなったはずのかつての盟友マーリーと対面する。マーリーは精霊の予言通りに導かれて自らのつらい過去を回想しクリスマスを祝う。

この物語を読んで、クリスマスだからこそ過去を振り返り、来年の生活を考えることができる作品です。

屋根裏のラジャー 映画情報 著者:岩佐 まもる

「想像の友だち(イマジナリ)」である少年ラジャーが仲間たちと大冒険へ繰り出す壮大なファンタジー。彼らは人間に忘れられると消えていく運命にあった。

原作小説は「ぼくが消えないうちに」。小説と映画、どちらもぼくが消えないうちに楽しんでください。

アナと雪の女王 映画情報 著者:サラ・ネイサン 他

ディズニーは創立100周年迎えました。アナ雪と言えばこの曲「Let It Go」。仲良し姉妹を引き裂いた氷の魔法。凍りついた世界を救うのは、真実の愛だけ!歴史に残る感動名作を映画や小説で楽しみましょう。

東京ディズニーシーは、来年新テーマパーク「Fantasy Springs」ができます。

チョコレート工場の秘密 著者:ロアルド・ダール

謎に包まれたチョコレート工場を見学できる5人の子供たち。発明品のようなお菓子や工場でお会いユニークな人々、ユーモアを味わうことができ、次第に人として大切なことは何か気づかされていきます。

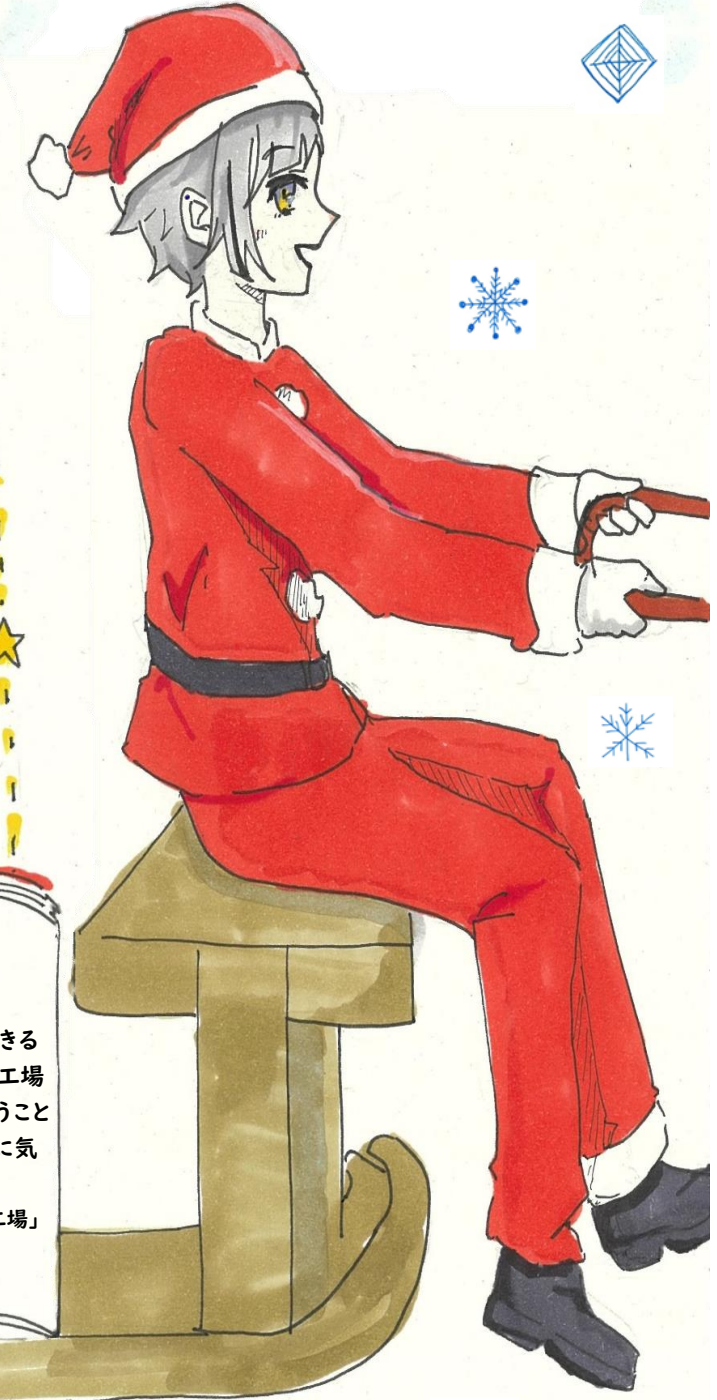
12月の映画館では「ウォンカとチョコレート工場」のはじまりが上映中。映画でも本でもあなたにチョコレートの魔法がかかります。



令和5年度
五島高校:図書委員会
11月 1日作成
12月 22日発行

図書委員制作担当
2-1
2-3

イラスト部制作担当
2-4
1-4



図書館統計のお知らせ

11月の貸出冊数は151冊です。
 昨年度は77冊でした。
 11月昼休みと放課後の
 入館者数は344人でした。



題名:みだれ髪 著者:与謝野 晶子

大阪・堺で和菓子店を営む家に生まれた鳳晶子。幼い頃から文学に親しんでいた少女は、やがて短歌の世界にのめり込み、入会した関西青年文学会でみずみずしい歌を披露するようになる。

この本は、与謝野晶子の後の旦那となる歌人・与謝野鉄幹との恋愛をメインのテーマとして描いた歌集です。

題名:こころ 著者:夏目 漱石

学生の「私」は鎌倉の海で「先生」と知り合い、惹かれていく。先生はなかなか心を開いてくれず、秘密めいていて、悲しみを帯びていた。

しかし私の熱意と単純さに、先生は自分の過去をいつか残らず話すことを約束した。ある日先生から私に遺書が届き...

この本は不朽の名作ですね。いろいろな人が解釈をすることができ、読み終わると何とも言えない気持ちになることでしょう。

題名:人間失格 著者:太宰 治

この物語の主人公 葉蔵は、人間の営みが理解できなかつたため、生活の中で人と関わるのが恐怖でしかなかった。そこで思いついたのが、本当の自分の気持ちを押し殺して「道化」を演じることであった。

この本は、人間社会で葉蔵が「人間失格」になる物語です。人間の弱さが細かく書かれているため、自分自身と重ねて読むことができます。好きな小説として挙げられる頻度の高い名作です。



題名:D坂の殺人事件 著者:江戸川 乱歩

ストーリー D坂で起きた蕎麦屋主人の謎の死。警察は自殺と判断したものの、名探偵・明智小五郎とその妻・文代は疑問を抱き、他殺とみて独自の捜査を開始する。真相が明らかになるにつれて、事件の裏に潜むおぞましい愛憎関係と果て無き人間の情欲が浮かび上がってくる。

こたつの中でこの本を読んでミステリーを楽しみましょう!



一生に一度は読んでおきたい日本文学作品

今年も残りわずかとなりました。

2024年の干支は辰!十二支の中で唯一の空想上の生きものですね。

甲辰に当たり、努力してきたことが成就する年になるそうです。

今回は、五高図書館でリニューアルした名作(角川文庫)を紹介します。

名作は、時を経ても変わらずに私たちに感動を与えてくれます。

本が好きな方も、これから読んでみたい方も、

ぜひ本選びの参考にしてみてください。

2024年も図書委員会の図書だよりを楽しみに!



題名:風の又三郎 著者:宮沢 賢治

退屈な生活を送っていた主人公の学校に少年が転校してきます。

「どっどど どどうど どどうど どどう」という印象的フレーズは、風の音を表現。自然豊かな場所を舞台に、突然激しい雨が降り出したり、強い風が吹き始めたりする描写が自然の壮大さを伝えてくれますし、自然と共存する子供たちの姿が生き生きと描写されています。

転校生がどのような存在なのか、本の世界に入り込んでください。

あなたはどの作品が好きですか?

題名	著者
羅生門	芥川 龍之介
武蔵野	国木田 独步
李陵・山月記・弟子・名人伝	中島 敦
優しき歌	立原 道造
暗い青春	坂口 安吾
犬神博士	夢野 久作
セロ弾きのゴーシュ	宮沢 賢治
舞姫・うたかたの記	森 鴎外
天衣無縫	織田 作之助

★他にもたくさんあります。